

四国厚生支局長 殿

開設者名 国立大学法人高知大学長

相良祐尊

高知大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	32 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	163人	148人	300.1人	看護補助者	47人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	6人	12人	18.0人	理学療法士	9人	臨床検査技師	41人
薬剤師	27人	0人	27.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	8人	3人	11.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	444人	65人	500.8人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	0人	5人	5.0人	栄養士	1人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	1人	1人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	88人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	28人	その他の職員	43人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	490.3人	11.9人	502.2人
1日当たり平均外来患者数	1006.9人	62.7人	1069.7人
1日当たり平均調剤数	742.1 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	43人	・膿疱性乾癬	11人
・多発性硬化症	14人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	31人	・原発性胆汁性肝硬変	21人
・全身性エリテマトーデス	125人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	6人	・特発性大腿骨頭壊死症	32人
・再生不良性貧血	18人	・混合性結合組織病	15人
・サルコイドーシス	50人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	16人	・特発性間質性肺炎	21人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	135人	・網膜色素変性症	12人
・特発性血小板減少性紫斑病	48人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	13人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	56人	・神経線維腫症	8人
・大動脈炎症候群	8人	・亜急性硬化性全脳炎	3人
・ビュルガー病	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	29人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	25人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	49人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・アミロイドーシス	9人	・肥大型心筋症	0人
・後縦韧带骨化症	49人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	2人	・ミトコンドリア病	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	8人	・リンパ管筋腫症(LAM)	0人
・ウエグナー肉芽腫症	2人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	18人	・黄色韧带骨化症	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシヤイ・ドレーガー症候群)	11人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	20人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人		

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



研究費補助等の実績

No.	研究課題名	担当氏名	番号	研究内容	金額	補助・委託先	備考
1	非アルコール性脂肪性肝症者の病態解明と診断法、治療法の開発に関する研究	西森 利治	11	消化器内科学	7,500,000	大阪府済生会吹田病院 厚生労働科学研究費	厚生科研
2	認知性肺炎に関する調査研究	西森 功	11	光学医療診療部 (消化器内科)	500,000	東北大学 厚生労働科学研究費	厚生科研
3	非アルコール性脂肪性肝症におけるKupfer細胞の2種性遺伝子の発現	小野 正文	11	消化器内科学	1,430,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
4	漢方薬で肝臓に作用する非アルコール性脂肪性肝症モデルマウスにおける免疫的分子機構	西森 利治	11	消化器内科学	1,850,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
5	自己免疫性肺炎における特異的免疫応答の検討	西森 功	11	光学医療診療部 (消化器内科)	2,600,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
6	共役輸送体 SGLT の発現調節における新規調節因子の同定と遺伝子発現の調節	田口 崇文	12	附属病院 内科(内分泌代謝・腎臓)	2,000,000	独立行政法人科学技術 振興機構	委託研究
7	糖尿病性腎症の早期診断のための新規尿中バイオマーカーの探索	井上 敏輔	12	附属病院 内科(内分泌代謝・腎臓)	2,000,000	独立行政法人科学技術 振興機構	委託研究
8	糖尿病性腎症が血管平滑筋RhoGTPaseに与える影響の解明と治療法の開発	次田 誠	12	附属病院 内科(内分泌代謝・腎臓)	2,000,000	独立行政法人科学技術 振興機構	委託研究
9	平成27年度地域科学技術振興事業委託事業「糖尿病・医療クラスター」の一割・糖尿病及び関連疾患の診断法及び検査・診断装置の開発〜タンパク質レベルのバイオマーカー探索法の開発と高精度シグナル検出	寺田 典生	12	内分泌代謝・腎臓内科学	3,000,000	とくしま産業振興機構	委託研究
10	家族性サイログロブリン遺伝子異常症の調査	西山 光	12	内分泌代謝・腎臓内科学	121,575	四万十町	委託研究
11	再生医療技術を用いた腎臓障害の再生・修復による急性腎不全の新規治療法の開発	井上 敏輔	12	内科(内分泌代謝・腎臓)	1,040,000	文部科学省	文部科学 省学研費(B)
12	再生医療技術を用いた腎臓障害の再生・修復による急性腎不全の新規治療法の開発	寺田 典生	12	内分泌代謝・腎臓内科学	4,420,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(B)
13	腎臓病におけるオートファジー・リソソーム系の病態への関与	寺田 典生	12	内分泌代謝・腎臓内科学	1,500,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(B)
14	プロモサイトマトリーによる白血球能増強機構の解析・治療戦略決定への応用	池添 隆之	13	血液・呼吸器内科学	2,000,000	独立行政法人科学技術 振興機構	委託研究
15	ヒトケルチン遺伝子を有するKL-6/MUC1分子の臨床的意義の調査	横山 彰仁	13	血液・呼吸器内科学	1,770,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
16	Functional MRIによる腎臓機能診断法の開発	香 俊一	13	血液・呼吸器内科学	810,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
17	分岐点キナーゼを標的とした新規血液腫瘍性腫瘍治療薬の開発	池添 隆之	13	血液・呼吸器内科学	1,580,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
18	造血系腫瘍における予後予測因子となる新規シグナル分子の同定とその臨床応用	大畑 雅典	13	血液・呼吸器内科学	1,430,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
19	運動器の不活性化に陥与する姿勢と骨格筋運動機能低下と関連するバイオマーカーの探索	西永 正典	14	老年病・循環器・神経内科学	1,500,000	香川大学 厚生労働科学研究費	厚生科研
20	心臓に付着した不活性化の発症・増悪に関与する要因に関する研究	土屋 健典	14	老年病・循環器・神経内科学	1,400,000	国立循環器病センター	委託研究
21	同一疾患遺伝子異常を持つ肥大型心疾患患者における両心室拡張子の検討	久保 千	14	内科(老年病・循環器・神経)	780,000	文部科学省	文部科学 省学研費(B)
22	心臓の病態と循環器治療の発明に関する基礎的研究	土屋 健典	14	老年病・循環器・神経内科学	910,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
23	疫学における日本臨床の現状と今後の予防戦略に関する研究	山口 宏	15	小児思春期医学	1,900,000	国立感染症研究所 厚生労働科学研究費	厚生科研
24	慢性活動性EBウイルス感染症の疫学解明と診断法確立に関する研究	山口 宏	15	小児思春期医学	2,800,000	国立感染症研究所 厚生労働科学研究費	厚生科研
25	認知症発症者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討	上村 匡人	18	神経精神科学	700,000	国立長寿医療センター 厚生労働科学研究費	厚生科研
26	かかりつけ医のための認知症の早期診断と疾患治療に関する研究	上村 匡人	18	神経精神科学	2,000,000	熊本大学 厚生労働科学研究費	厚生科研
27	統合失調症の未治療期間とその予後に関する疫学的研究	下寺 信次	18	神経精神科学	1,300,000	高野大学 厚生労働科学研究費	厚生科研
28	患者期待と治療の質と精神療法の早期介入方策に関する研究	下寺 信次	18	神経精神科学	500,000	東京独立病院 厚生労働科学研究費	厚生科研
29	健康長寿社会構築のための社会(医学)的、政策的、経済的調査分析と政策提議のための政策立案に関する研究	上村 匡人	18	附属病院 神経精神科	3,000,000	国立長寿医療センター	委託研究
30	コンプレクソン可溶性子欠損マウスを用いたストレス調節性メカニズムの研究	加藤 邦夫	18	神経精神科学	2,000,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
31	白癩の診断基準及び治療法確立の確立	佐野 栄紀	17	皮膚科学	2,000,000	大阪大学 厚生労働科学研究費	厚生科研
32	皮膚病多発マウスを用いた新規シグナル阻害薬の発見による皮膚病の抑制効果	横川 真紀	17	附属病院 皮膚科学	5,000,000	独立行政法人科学技術 振興機構	委託研究
33	多小血管病を用いた皮膚病治療の新規治療法開発	高橋 敏	17	附属病院 皮膚科	2,000,000	独立行政法人科学技術 振興機構	委託研究
34	皮膚病治療薬における免疫系調節因子のシグナルの同定	横川 真紀	17	皮膚科学	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
35	アレルギーによる皮膚病治療の発症・増悪を抑制するマウスを用いた研究	佐野 栄紀	17	皮膚科学	1,850,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
36	皮膚病の発症におけるTh17の役割	中島 真美子	17	皮膚科学	2,470,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
37	モデルマウスを用いた皮膚病の病態解明及び治療法の開発	佐野 栄紀	17	皮膚科学	1,880,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
38	新しい治療薬・増悪抑制剤KORTUCの開発時期と効果に関する研究	小川 泰弘	18	放射線医学	3,120,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
39	腫瘍転移分子を標的とした放射線増強剤の開発の予後と治療	西岡 朝人	18	放射線医学	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
40	遠隔化水素水による腫瘍細胞の放射線感受性の克服	川谷 真希	18	放射線医学	2,210,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(D)
41	下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療の適正出力に関する研究	笹原 忍朗	20	外科学(外科2)	2,038,000	高知大学 厚生労働科学研究費	厚生科研
42	コリンエステラーゼ阻害剤(Dネベジル)による新しい心不全治療薬の開発	岸根 武巳	20	外科(第二)	1,300,000	文部科学省	文部科学 省学研費(B)
43	腸内細菌叢を標的とした腸内細菌叢の病態をストレスの軽減	山本 正樹	20	手術部 (外科2)	1,580,000	文部科学省	文部科学 省学研費(B)
44	海洋深層水中のCOX-1阻害物質の探索	佐藤 志朗	20	外科学(外科2)	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
45	腫瘍転移分子を標的とした全身性免疫応答誘導剤の開発	野田 浩吉	20	外科(第二)	1,580,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
46	腸内細菌叢を標的とした腸内細菌叢の病態をストレスの軽減	横山 正尚	21	放射線科	1,880,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科学 高学研費(C)
47	骨髄腫治療薬の開発に関する基礎研究	成政 龍一	23	整形外科	2,000,000	東京医科大学 厚生労働科学研究費	厚生科研

44	骨格筋骨化症に関する調査研究	谷 俊一	23	整形外科	1,000,000	肥前義塾大学 厚生労働科学研究費	厚生科研
45	腫瘍の診断、治療に関する病変(癌前病変)の発症・増進のメカニズム	谷 俊一	23	整形外科	1,300,000	千葉大学 厚生労働科学研究費	厚生科研
46	骨質低下性骨髄質減少の病変の把握と病態の解明に関する研究	谷 俊一	23	整形外科	2,000,000	高知医科大学 厚生労働科学研究費	厚生科研
47	高齢者患者のための在宅・生活参加型高齢者健診と運動リハビリテーションに関する調査	谷 俊一	23	整形外科	400,000	黒潮町	受託研究
48	末梢神経電刺激療法による麻痺血行改善効果の予防効果に関する調査研究	池内 昌隆	23	整形外科	2,000,000	独立行政法人科学技術振興機構	受託研究
49	変形性関節症の疼痛発生機序における関節液の酸性化と炎症性細胞浸潤の発現	池内 昌隆	23	整形外科	1,170,000	文部科学省	文部科研 競争的資金(B)
50	関節によるイメージングが関節炎及び骨質減少の病変に及ぼす効果	谷口 慎一郎	23	整形外科	780,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
51	アルギニン代謝異常症におけるマクロファージの関与	濱島 敬樹	24	眼科	1,660,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
52	内耳水代謝における水チャネルとイオン共輸送体の水ポンプとしての役割に関する研究	竹田 雅三	25	耳鼻咽喉科	650,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
53	低下聴覚の病態および重症度評価に基づいた低下聴覚治療法の開発	茂藤 政光	25	耳鼻咽喉科	780,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
54	高度聴覚障害モデルを用いた聴覚矯正装置の開発アプローチに関する研究	比野平 裕之	25	耳鼻咽喉科	2,210,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
55	腫瘍がんの対策推進のための総合的研究	秋印 太郎	27	泌尿器科	5,000,000	国立がんセンター 厚生労働科学研究費	厚生科研
56	腫瘍がんの低侵襲で効果的、正確で安全な診断・治療用機器の開発と臨床応用及びその臨床技術の開発に関する研究	秋印 太郎	27	泌尿器科	1,300,000	国立がんセンター 厚生労働科学研究費	厚生科研
57	高度診断技術の効率化及び標準化の開発に関する研究	秋印 太郎	27	泌尿器科	1,200,000	国立がんセンター 厚生労働科学研究費	厚生科研
58	フロン・ヒップリンドウ病の病態調査と診断治療法確立の研究	秋印 太郎	27	泌尿器科	特種 22,100,000	高知大学 厚生労働科学研究費	厚生科研
59	動物(マウス)による5-アミノリプリン酸(AIA)の免疫力学療法(AI-EDT)	井上 雅史	27	泌尿器科	1,500,000	SBIラブリオ株式会社	受託研究
60	検査前兆力学診断に基づく人工知能を用いた症例決定支援システムの開発	井上 雅史	27	泌尿器科	2,000,000	独立行政法人科学技術振興機構	受託研究
61	前立腺癌の次世代バイオマーカーの開発と臨床応用	田村 真司	27	附属病院 泌尿器科	2,000,000	独立行政法人科学技術振興機構	受託研究
62	3次元細胞培養したAR陰性前立腺癌細胞の遺伝子発現解析	田村 真司	27	泌尿器科	2,210,000	文部科学省	文部科研 競争的資金(B)
63	腎臓癌における降圧素ARBの腫瘍増殖作用の抑制性の検証	栗田 聡	27	泌尿器科	2,210,000	文部科学省	文部科研 競争的資金(B)
64	ラミンA1、腎臓癌の新規診断法	若島 尚	27	泌尿器科	1,820,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
65	術外腫瘍マーカーシステムを用いた口腔癌のセンチネルリンパ節転送の開発	北村 聖也	28	歯科口腔外科	3,120,000	文部科学省	文部科研 競争的資金(B)
66	口癌患者の術後による口蓋機能メカニズムの解析	山田 朋弘	28	歯科口腔外科	1,300,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
67	扁平上皮癌のEphrA-Ephrinシグナルを介する増殖・転移メカニズムの解析	佐藤 衣星	28	歯科口腔外科	1,430,000	文部科学省	文部科研 競争的資金(D)
68	アンドロゲンリセプターを標的とした増殖促進の新薬治療薬	宮村 直秀	28	歯科口腔外科	2,210,000	文部科学省	文部科研 競争的資金(B)
69	口癌癌に対する免疫療法的効果をもつ化学・放射線治療の高度化・経時的検討	山本 智也	28	歯科口腔外科	1,500,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(B)
70	口癌癌のDNA損傷応答システムの解析に基づく新規治療法の開発	高崎 金吾	28	歯科口腔外科	610,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
71	口癌癌上皮癌の形成に関与するMicroRNAとその機能的役割の解析	山本 智也	28	歯科口腔外科	1,800,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
72	小児急性リンパ性白血病における治療抵抗性および新規薬剤治療法の開発	秋内 俊夫	28	総合診療部	1,560,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
73	ヘルピコクター・ピロリ菌感染に伴う小腸腸管免疫系メカニズムの解析	藤本 雅仁	30	検査部	1,820,000	文部科学省	文部科研 競争的資金(B)
74	急性冠動脈疾患における好中球の役割に関する検討	公文 義雄	30	附属循環器内科 (検査部)	650,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
75	急性冠動脈疾患におけるヘルピコクター・ピロリ菌感染の抑制とその検証	杉浦 智朗	30	附属循環器内科 (検査部)	2,510,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
76	ヘルピコクター・ピロリ菌の増殖(プログラム死)と免疫系・再生免疫系	竹内 晋英	30	検査部	2,250,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(C)
77	スピアオールの有効成分による鎮痛効果の検証	今村 潤	31	附属病院 検査部	1,700,000	四万十市	受託研究
78	リガタイム成分増殖の抑制とメタボリック症候群への予防	石田 寛司	31	リハビリセンター	400,000	独立行政法人 日本学術振興会	文部科研 競争的資金(B)
79	平成21年度地方の元気再生推進調査委託費の一部(香石茶の機能性評価と生産技術の検討及び健康不老の調査及び健康性評価)	宮村 直秀	30	検査部	4,200,000	大豊町	受託研究
	合計		83件		176,026,575		

小計4B

小計35

合計83



## (様式第11)

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gut 59:258-266, 2009.	Super paramagnetic iron Oxide MRI shows defective kupffer cell uptake function in non-alcoholic fatty liver disease.	Asanuma T, Ono M, Kubota K, Hirose A, Hayashi Y, Saibara T, Inanami O, Ogawa Y, Enzan H, Onishi S, Kuwahara M.	消化器内科(第一内科)
Liver Transpl 15:806-809, 2009.	Recurrent familial hypobetalipoproteinemia-induced nonalcoholic fatty liver disease after living donor liver transplantation.	Harada N, Scejima Y, Taketomi A, Yoshizumi T, Uchiyama H, Ikegami T, Saibara T, Nishizaki T, Maehara Y.	消化器内科(第一内科)
Bone Marrow Transplant [Epub ahead of print], 2009.	Efficacy of bezafibrate for chronic GVHD of the liver after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Hidaka M, Iwasaki S, Matsui T, Kawakita T, Inoue Y, Sakai T, Harada N, Takemoto S, Nagakura S, Kiyokawa T, Takahashi M, Saibara T, Onishi S.	消化器内科(第一内科)
J Med Chem 52:2226-2232, 2009.	Molecular cloning, characterization, and inhibition studies of the Rv1284 $\beta$ -carbonic anhydrase from mycobacterium tuberculosis with sulfonamides and a sulfamate.	Minakuchi T, Nishimori I, Vullo D, Scozzafava A, Sunuran CT.	消化器内科(第一内科)
Ann Rheum Dis 68:1310-1315, 2009.	Proposal for a new clinical entity, IgG4-positive multiorgan lymphoproliferative syndrome: analysis of 64 cases of IgG4-related disorders.	Masaki Y, Dong L, Kurose N, Kitagawa K, Morikawa Y, Yamamoto M, Takahashi H, Shinomura Y, Imai K, Saeki T, Azumi A, Nakada S, Sugiyama E, Matsui S, Origuchi T, Nishiyama S, Nishimori I, Nojima T, Yamada K, Kawano M, Zen Y, Kaneko M, Miyazaki K, Tsubota K, Eguchi K, Tomoda K, Sawaki T, Yamaoka M.	消化器内科(第一内科)
Best Pract Res Cl Ga 23:11-23, 2009.	Autoimmune pancreatitis and IgG4-associated sclerosing cholangitis.	Nishimori I, Otsuki M.	消化器内科(第一内科)
J Enzyme Inhib Med Chem 24:70-76, 2009.	Carbonic anhydrase inhibitors. Cloning, characterization, and inhibition studies of the cytosolic isozyme III with anions.	Nishimori I, Minakuchi T, Onishi S, Vullo D, Cecchi A, Scozzafava A.	消化器内科(第一内科)
BMC Cancer 9:393, 2009.	A balanced t(5;17)(p15;q22-23) in chondroblastoma: frequency of the re-arrangement and analysis of the candidate genes.	Romeo S, Szuhai K, Nishimori I, Ijszenga M, Wijers-Koster P, Taminiau AH, Hogendoorn M.	消化器内科(第一内科)
BIO Clinica 24:83-87, 2009.	原発性胆汁性肝硬変に対するBezafibrateの効果.	岩崎信二, 高橋昌也, 西原利治.	消化器内科(第一内科)
日本内科学会誌 98(臨時増刊号):48-53, 2009.	NAFLD, NASHの病態と臨床.	大西三期, 西原利治.	消化器内科(第一内科)

日本内科学会誌 98:2101-2111, 2009.	NAFLD, NASHの病態と臨床	大西三朗, 西原利治	消化器内科(第一内科)
肝臓 50:741-747, 2009. (特別寄稿)	日本肝臓学会コンセンサス神戸2009; NASHの診断と治療.	岡上武, 西原利治, 小野正文, 角田圭雄, 橋本悦子, 田村信司, 山田剛太郎, 河田純男, 工藤正	消化器内科(第一内科)
消化器科 48:97-104, 2009.	NASHモデル動物における発癌リスク	小野正文, 小笠原光成, 西原利治, 大西三朗	消化器内科(第一内科)
肝胆膵 58:461-466, 2009.	特発性慢性肝炎	新崎拓大, 西森功	消化器内科(第一内科)
治療 91:977-979, 2009.	肝・胆・膵 NAFLD/NASH	西原利治	消化器内科(第一内科)
MEDICAMENT NEWS 1988: 4-5, 2009.	メタボリックシンドロームの肝臓での表現型としてのNAFLD/NASH.	西原利治	消化器内科(第一内科)
日本医師会雑誌 138:1061-1073, 2009	特集 肝疾患診療の新しい展開	西原利治	消化器内科(第一内科)
日本医事新報 4470:76-77, 2009.	質疑応答 NASHの早期診断およびマシンドールの適応と使用上の注意	西原利治	消化器内科(第一内科)
胆と膵 30:1339-1342, 2009.	特集 慢性肝炎診療のベストプラクティス2009 疫学調査に基づいたわが国の慢性肝炎の実態.	西森功, 大槻眞, 正宗淳, 下瀬川徹	消化器内科(第一内科)
治療学 43:1048-1050, 2009	肥満とNASH	廣瀬孝, 宮本敬子, 西原利治	消化器内科(第一内科)
肝胆膵 59:1195-1199, 2009	NASH発症に関する遺伝子多型	宮本敬子, 岡本直人, 西原利治	消化器内科(第一内科)
BIO Clinica 24:1159-1162, 2009	NAFLD/NASHとインスリン抵抗性	宮本敬子, 田中繁, 西原利治	消化器内科(第一内科)
消化器内視鏡 20:1859-1863, 2009	ERCPの偶発性と対策-ERCP後膵炎の取り組み-	峯徹哉, 明石隆吉, 五十嵐良典, 入澤篤志, 神澤輝実, 川口義明, 須賀俊博, 西森功, 大槻眞, 伊藤鉄英, 大原弘隆, 川茂幸, 木田光広, 田中滋城, 花田敬十, 下瀬川徹	消化器内科(第一内科)
Mol Cell Endocrinol 302, 18-25, 2009	Glucocorticoid receptor plays an indispensable role in mineralocorticoid receptor-dependent transcription in GR-deficient BE(2)C and T84 cells in vitro.	Tsugita M, Iwasaki Y, Nishiyama M, Taguchi T, Shinahara M, Taniguchi Y, Kambayashi M, Nishiyama A, Gomez-Sanchez CE, Terada Y.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Journal of atherosclerosis and Thombosis 16, 448-456, 2009	High glucose induce transactivation of the $\alpha$ -HS glycoprotein gene through the ERK1/2 signaling pathway.	Takata H, Ikeda Y, Suehiro T, Ishibashi A, Inoue M, Kumon Y.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Mol Cell Endocrinol 298, 25-32, 2009	Insulin exhibits short-term anti-inflammatory but long-term proinflammatory effects in vitro.	Iwasaki Y, Nishiyama M, Taguchi T, Asai M, Yoshida M, Kambayashi M, Terada Y.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Endocr J 56, 879-886, 2009	Plasma adiponectin level is increased despite insulin resistance in corticotropin-releasing hormone transgenic mice, an animal model of Cushing syndrome.	Shinahara M, Nishiyama M, Iwasaki Y, Nakayama S, Noguchi T, Kambayashi M, Okada Y, Tuda M, Stenzel-Poore MP, Hashimoto K.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)

Endocr J 56, 1019-1030, 2009	Hormonal regulation of glycolytic enzyme gene and pyruvate dehydrogenase dinase/phosphatase gene transcription.	Wang Z, Iwasaki Y, Zhao LF, Nishiyama M, Taguchi T, Tsugita M, Kambayashi M, Hashimoto K, Terada Y.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Atherosclerosis 202, 439-445, 2009	Pitavastatin induces PON1 expression through 44/42 mitogen-activated protein kinase signaling cascade in Huh7 cells.	Arii K, Suehiro T, Ikeda Y, Kumon Y, Osaki F, Inoue M, Inada S, Ogami N, Takada H, Hashimoto K, Terada Y.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Horm Metab Res 41, 221-226, 2009	Visceral obesity is associated with the metabolic syndrome and elevated plasma retinol binding protein-4 level in obstructive sleep apnea syndrome.	Makino S, Fujiwara M, Suzukawa K, Handa H, Fujie T, Ohtaka Y, Komatsu Y, Aoki Y, Maruyama H, Terada Y, Hashimoto K.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Acta Diabetol 46, 239-242, 2009	Low human paraoxonase predicts cardiovascular events in Japanese patients with 2 diabetes.	Ikeda Y, Inoue M, Suehiro T, Arii K, Kumon Y, Hashimoto K.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Am J Nephrol 29, 102-108, 2009	Effects of angiotensin II type 1 receptor blocker on albumin-induced cell damage in human renal proximal tubular epithelial cells.	Takao T, Horino T, Kagawa T, Matsumoto R, Inoue K, Taguchi T, Morita T, Iwasaki Y, Hashimoto K.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Therapeutic Apheresis and Dialysis 13(1), 42-48, 2009	Effect of Sevelamer Hydrochloride on Bone in Experimental Uremic Rats.	Kuwahara M, Inoshita S, Terada Y, Sasaki S.	内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)
Leukemia 2009;23:1564-76.	A novel treatment strategy targeting polo-like kinase 1 in hematological malignancies.	Ikezoe T, Yang J, Nishioka C, Takezaki Y*, Tasaka T*, Togitani K, Koeffler HP*, Yokoyama A.	血液・呼吸器内科(第三内科)
Int J Cancer 2009 ; 125:1710-20.	Inhibition of mammalian target of rapamycin signaling potentiates the effects of all-trans retinoic acid to induce growth arrest and differentiation of human acute myelogenous	Nishioka C, Ikezoe T, Yang J, Gery S*, Koeffler HP*, Yokoyama A.	血液・呼吸器内科(第三内科)
Apoptosis 2009;14:1103-20.	Inhibition of MEK signaling enhances the ability of cytarabine to induce growth arrest and apoptosis of acute myelogenous leukemia cells.	Nishioka C, Ikezoe T, Yang J, Yokoyama A.	血液・呼吸器内科(第三内科)
Int J Cancer 2009;125:1168-76.	Blockade of MEK signaling potentiates 5-Aza-2'-deoxycytidine-induced apoptosis and upregulation of p21(waf1) in acute myelogenous leukemia cells.	Nishioka C, Ikezoe T, Yang J, Komatsu N, Koeffler HP*, Yokoyama A.	血液・呼吸器内科(第三内科)
Lab Invest 2009;89:1364-73.	Analysis of Aurora B kinase in non-Hodgkin lymphoma.	Ikezoe T, Takeuchi T, Yang J, Adachi Y, Nishioka C, Furihata M, Koeffler HP.	血液・呼吸器内科(第三内科)
今日の治療指針2009年版 (Volume 51), 309-310, 2009	急性心膜炎	土居義典	老年病科

高齢者診療マニュアル, 60-63, 2009	高齢者総合的機能評価(CGA)の使い方とチームアプローチ	西永正典	老年病科
New専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ10:循環器疾患, 237-245, 2009	CASE 23 労作時呼吸困難と下腿浮腫を主訴に来院した74歳男性	高田 淳, 大川真理, 土居義典	老年病科
$\beta$ 遮断薬のすべて 第3版, 180-185, 2009	高齢者高血圧と $\beta$ 遮断薬	矢部敏和, 土居義典	老年病科
高齢者診療マニュアル, 145-146, 2009	心不全	矢部敏和, 土居義典	老年病科
高齢者診療マニュアル, 148-149, 2009	心筋症	矢部敏和, 土居義典	老年病科
新・心エコー図読影のポイント 改訂第3版, 1-205, 2009	心エコー図読影のポイント	松村敬久, 大川真理, 土居義典	老年病科
New専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ10:循環器疾患, 122-140, 2009	CASE 13 うっ血性心不全の既往と心房細動を有する75歳女性	松村敬久, 土居義典	老年病科
パーキンソン病診療Q&A, 178-179, 2009	Q59	大崎康史	老年病科
別冊日本臨床:新領域別症候群シリーズ No.9, 49-52, 2009	咳嗽失神	馬場裕一, 矢部敏和, 土居義典	老年病科
J Cardiol, 53, 361-367, 2009	Utility of tissue Doppler-imaging to predict exercise capacity in hypertrophic cardiomyopathy: Comparison with B-type natriuretic peptide.	Kitaoka H, Kubo T, Okawa M, Hayato K, Yamasaki N, Matsumura Y, Doi YL	老年病科
Mov Disord, 24, 1475-1480, 2009	Cross-sectional and longitudinal studies of three dimensional stereotactic surface projection SPECT analysis in Parkinson's disease.	Osaki Y, Morita Y, Fukumoto M, Akagi N, Yoshida S, Doi Y	老年病科
Mov Disord, 24, 2272-2276, 2009	A validation exercise on the new criteria for multiple system atrophy.	Osaki Y, Ben-shlomo, Lees AJ, Wenning GK, Quinn NP	老年病科
Circ J, 73, 1599-1605, 2009	Clinical impact of atrial fibrillation in patients with hypertrophic cardiomyopathy -Results from Kochi RYOMA Study.	Kubo T, Kitaoka H, Okawa M, Hirota T, Hayato K, Yamasaki N, Matsumura Y, Yabe T, Takata J, Doi YL	老年病科
Circ J, 73, 2330-2336, 2009	Clinical profiles of hypertrophic cardiomyopathy with apical phenotype: Comparison of pure-apical form and distal-dominant form.	Kubo T, Kitaoka H, Okawa M, Hirota T, Hoshikawa E, Hayato K, Yamasaki N, Matsumura Y, Yabe T, Nishinaga M, Takata J, Doi YL	老年病科
Geriatr Gerontol Int, 9, 148-154, 2009	B-type natriuretic in community-dwelling elderly without heart diseases.	Shimizu Y, Nishinaga M, Takata J, Miyano I, Okumiya K, Matsubayashi K, Ozawa T, Yasuda N, Doi Y	老年病科

J Am Coll Cardiol, 54, 334-342, 2009	Cardiac ankyrin repeat protein gene (ANKRD1) mutations in hypertrophic cardiomyopathy.	Arimura T, Bos JM, Sato A, Kubo T, Okamoto H, Nishi H, Harada H, Koga Y, Moulik M, Doi YL, Towbin JA, AcKerman MJ, Kimura A	老年病科
Int J Cardiol, 137, 102-107, 2009	Prevalence of atrial fibrillation in the general population of Japan: An analysis based on periodic health examination.	Inoue H, Fujiki A, Origasa H, Ogawa S, Okumura K, Kubo T, Aizawa Y, Yamashita A, Atarashi H, Horie M, Ohe T, Doi Y, Shimizu A, Chishaka A, Saikawa T, Yano K, Kitabatake A, Matsumura H, Kodama I, Kamakura S	老年病科
Circulation, 119, 1892-1898, 2009	Japan Arteriosclerosis Longitudinal Study (JALS) Group.: Four blood pressure indexes and the risk of stroke and myocardial infarction in Japanese men and women: a meta-analysis of 16 cohort studies.	Miura K, Nakagawa H, Ohashi Y, Harada A, Taguri M, Kushihiro T, Takahashi A, Nishinaga M, Soejima H, Ueshima H	老年病科
日老医誌, 46, 493-495, 2009	急性心筋梗塞治療の地域ネットワーク構築	土居義典	老年病科
治療 4月号増刊号薬の選び方・使い方のエッセンス, 91, 818-822, 2009	肺動脈性肺高血圧症	高田 淳, 久保亨, 土居義典	老年病科
Medico, 40, 9-11, 2009	パーキンソン病初期治療における薬剤選択	大崎康史	老年病科
Geriatric Medicine, 47, 717-720, 2009	転倒危険者の早期発見から予防まで 最新のエビデンスから 病因、病態と転倒 慢性期病院における転倒・転落防止対策 アセスメントシー	宮野伊知郎, 西永正典	老年病科
Prog Med, 29, 1793-1746, 2009	パーキンソン病の疫学・疫学調査と臨床への展開	中島健二, 柏原健二, 大崎康史	老年病科
Psychiatry Clin Neurosci	Effects of cellular phone e-mail use on the mental health of junior high school students in Japan	Imamura A, Nishida A, Nakazawa N, Shimodera S, Tanaka G, Kinoshita H, Ozawa	神経科精神科
臨床精神薬理	統合失調症治療における陽性症状改善効果以外にも注目したquetiapineの効果	大森哲郎, 長楽鉄乃祐, 木村尚人, 兼田康宏, 下寺信次	神経科精神科
老年精神医学雑誌	各国の認知症と自動車運転に関するガイドラインと課題, 各国の認知症治療ガイドライン	上村直人, 谷勝良子, 井岡美咲, 諸隈陽子	神経科精神科
Bulletin of Depression and Anxiety Disorders	うつ病のサイコエデュケーション サイコエデュケーションの指導パッケージ: 手軽に行う知識と技能の教育	下寺信次	神経科精神科
専門医のための精神科臨床レビュー	心理教育の視点から V. 精神疾患の早期発見のためにあるべき支援・システム・アンチスティグマ活動	下寺信次	神経科精神科

専門医のための精神科臨床リュミエール 7 統合失調症の早期発見と早期介入	心理教育の視点から V. 精神疾患の早期発見のためにあるべき支援・システム・アンチスティグマ活動	下寺信次	神経科精神科
めまい平衡医学	精神症状の対応に苦慮した交通事故後のめまい症例	土井彩, 田村桃三, 小椋謙一, 滝下照章, 藤田博一	神経科精神科
Acta Psychiatr Scand.	Psychotic-like experiences are associated with suicidal feelings and deliberate self-harm behaviors in adolescents aged 12-15 years	Nishida A, Sasaki T, Nihsimura Y, Tanii H, Hara N, Inoue K, Yamada T, Takami T, Shimodera S, Itokawa M, Asukai N, Okazaki Y	神経科精神科
Psychiatry Clin Neurosci	Associations between feasibility of discharge, clinical state, and patients attitude among inpatients with schizophrenia in Japan	Mino Y, Ohsima I, Shimodera S	神経科精神科
社会問題研究	日本における双極性障害の家族心理教育の医療費への影響	三野善央, 下寺信次, 福澤佳恵, 諸隈一平, 藤田博一, 米倉裕希子, 何玲	神経科精神科
社会問題研究	カンパウエル家族面接による家族感情表出 (Expressed Emotion, EE) 評価の信頼性に関する研究. 社会問題研究	三野善央, 下寺信次, 上村直人, 米倉裕希子, 何玲	神経科精神科
精神神経学雑誌	統合失調症における家族心理教育の医療コスト分析 精神医学のフロンティア	三野善央, 下寺信次, 井上新平	神経科精神科
Skin Cancer 23:416-419	女兒の側腹部に生じ, 悪性化が疑われた顆粒細胞腫	三野奈津子, 志賀建夫, 中島喜美子, 池田光徳, 佐野栄紀, 中川宏治, 黒田直人	皮膚科
皮膚疾患最新の治療2009-2010 P182	HIV感染症, AIDS	佐野栄紀	皮膚科
Oncogene 28:950-960	Constitutive activation and targeted disruption of signal transducer and activator of transcription 3 (Stat3) in mouse epidermis reveal its critical role in UVB-induced skin	Kim, D. J. Angel, J. M. Sano, S. DiGiovanni, J.	皮膚科
Mol Carcinog 48:873-885	Targeted disruption of Bcl-x(L) in mouse keratinocytes inhibits both UVB- and chemically induced skin carcinogenesis	Kim, D. J. Kataoka, K. Sano, S. Connolly, K. Kiguchi, K. DiGiovanni, J.	皮膚科
Eur J Nucl Med Mol Imaging 36:1198	Symmetric giant xanthogranulomas in Erdheim-Chester disease	Taguchi, T. Sano, S. Iwasaki, Y. Terada, Y.	皮膚科
今日の治療指針2009年版 (Vol.51) 870-871	紅皮症(剥脱性皮膚炎)	佐野栄紀	皮膚科
皮膚科診療最前線シリーズ 顔の皮膚病最前線 182-185	眼瞼黄色腫と高脂血症	池田光徳	皮膚科
皮膚病診療 31:37-40	【蕁麻疹とその類症】 臨床例 自己免疫性蕁麻疹 モンテルカストが奏効した例	石田勲, 花房崇明, 谷守, 佐野栄紀	皮膚科
西日本皮膚科 71:38-41	モースペーストとメロニダゾール軟膏の併用で QOLの改善をみた転移性皮膚癌の2例	志賀建夫, 横川真紀	皮膚科

子どもの良性・悪性皮膚腫瘍の実践診療 69-70	血管拡張性肉芽腫	中島英貴	皮膚科
西日本皮膚科 71:119-120	指輪による手指絞扼症および金属アレルギー	藤岡愛, 志賀建夫, 高田智也, 池田光徳, 佐野栄	皮膚科
皮膚科の臨床 51:857-860	Amyloidosis Vitiligoidesの1例	三好研, 小玉肇	皮膚科
皮膚科の臨床 51:899-902	著明な末梢血好酸球増多を認めた膿疱性乾癬	藤岡愛, 長谷川春奈, 高田智也, 池田光徳, 佐野栄紀, 小玉肇	皮膚科
Clin Exp Dermatol 34:e69-71	Thrombotic eosinophilic vasculitis	Nakajima, H.; Nak	皮膚科
The Journal of Dermatology 36:551-554	Cutaneous botryomycosis associated with eosinophilic cellulitis	Takata, T.; Nakajima, H.; Ikeda, M.; Kodama, H.; Tamaki, H.; Sano, S.	皮膚科
Journal of Dermatological Science 56:210-212	Screening of the specific polyoma virus as diagnostic and prognostic tools for Merkel cell carcinoma	Nakajima, H.; Takaishi, M.; Yamamoto, M.; Kamijima, R.; Kodama, H.; Tarutani, M.; Sano, S.	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 119:2173-2180	各種皮膚疾患に対する308nmエキシマランプによるターゲット型光線療法	横川真紀, 高田智也, 永野弓枝, 池田光徳, 佐野	皮膚科
日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会雑誌 3:439-442	gloves-and-socks syndromeに一致した皮膚の分布を示した nonpigmenting fixed drug eruption	横川真紀, 佐野栄紀	皮膚科
日本レーザー治療学会雑誌 皮膚病診療 32:33-36	各種皮膚疾患に対するターゲット型エキシマランプの治療経験 全身に紫斑を生じたアナフィラクトイド紫斑	横川真紀, 佐野栄紀 志賀建夫, 中島喜美子, 佐野栄紀, 小玉肇	皮膚科
日本医事新報 4445:65,68	尋常性乾癬の治療	三好研	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 119:2883-2885	新しい治療法 Stat3阻害剤の臨床応用	佐野栄紀, 横川真紀, 三好研	皮膚科
皮膚科の臨床 51:1857-1861	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合カプセル剤による紫斑型薬剤の1例	喜多川千恵, 山田陽三, 吉田勲, 千代丸康治, 足立厚子	皮膚科
皮膚の科学 8:800-804	乾癬発症のメカニズム	佐野栄紀	皮膚科
日本小児皮膚科学会雑誌 別冊 29:55-58	Acral pseudolymphomatous angiokeratoma of children (APACHE)の1例	樽谷勝仁, 伊藤孝一, 長澤智彦, 佐野栄紀	皮膚科
臨床放射線 (0009-9252)52巻1号 Page173-178 (2010.01)	【胸部の最新画像情報2010】 非小細胞肺癌に対する放射線治療の効果予測におけるPET/CTの有用性	西岡 明人	高知大学医学部 放射線医学
新医療(0910-7991) 36巻12号 Page36-39 (2009.12)	【最新こそ最良説 放射線治療装置】 がん治療のニーズに確実に応える 放射線治療機器の進歩を、がん患者の ニーズ増大と臨床的效果から考える	小川 泰弘	高知台区医学部 放射線医学

臨床放射線 (0009-9252)54巻12号 Page1683-1688 (2009.11)	過酸化水素腫瘍内局注による放射線増感効果の マウス移植腫瘍を用いた実験的検討 ヒアルロン酸添加の有用性について	明間 陵	高知大学 医学部附属病院 放射線科
映像情報medical (1346-1354)41巻12号 Page1214-1221 (2009.11)	【放射線治療の現在】 臨床 過酸化水素を用いた新しい酵素標的・増感 放射線療法KORTUCの臨床応用の現状と展開	小川 恭弘	高知大学医学部 放射線医学
Urology View (1347-9636)7巻6号 Page90-96 (2009.12)	【尿路性器癌に対する放射線療法】 新しい酵素標的・増感放射線療法KORTUC	小川 恭弘	高知大学医学部 放射線医学
耳鼻咽喉科臨床 (0032-6313)102巻9号 Page749-754 (2009.09)	下咽頭癌に対する放射線併用超選択的動注 化学療法	大野 覚	高知大学医学部 耳鼻咽喉科
臨床放射線 (0009-9252)54巻10号 Page1251-1263 (2009.10)	新しい酵素標的・増感放射線療法増感放射線療法 KORTUCの臨床応用の現状と将来展望	小川 恭弘	高知大学医学部 附属病院 放射線科
Rad Fan (1348-3498)7巻9号 Page105-107 (2009.08)	【放射線治療の最前線】 新しい酵素標的・増感放射線療法KORTUC	小川 恭弘	高知大学医学部 放射線医学講座
癌の臨床 (0021-4949)55巻4号 Page285-294 (2009.07)	【放射線治療の治療効果向上と副作用軽減を目標して】 新しい放射線防護剤の基礎と臨床 TGF- $\beta$ を標的とした放射線誘発肺腫瘍の予防と	西岡 明人	高知大学医学部 放射線医学講座
癌の臨床 (0021-4949)55巻4号 Page273-277 (2009.07)	【放射線治療の治療効果向上と副作用軽減を目標して】 新しい放射線増感剤の基礎と臨床 追加発音 過酸化水素による放射線増感作用の 基礎的検討	刈谷 真爾	高知大学医学部 医学科 放射線医学講座
癌の臨床 (0021-4949)55巻4号 Page255-271 (2009.07)	【放射線治療の治療効果向上と副作用軽減を目標して】 新しい放射線増感剤の基礎と臨床 新開発の放射 線増感剤(過酸化水素含有ヒアルロン酸ナトリウム)	小川 恭弘	高知大学医学部 放射線医学教室
Acta Anaesthesiol Scand 53(1)Jan:66-71. Epub 2008 Oct 22	Accuracy and reliability of continuous blood glucose monitor in post-surgical patients	Yamashita K, Okabayashi T, Yokoyama T, Yatabe T, Maeda H, Manabe M, Hanazaki K	外科(一)
Am J Surg. 2009 Nov 6. [Epub ahead of print]	Hyperglycemia during hepatic resection: continuous monitoring of blood glucose concentration	Maeda H, Okabayashi T, Nishimori I, Yamashita K, Sugimoto T, Hanazaki K	外科(一)
Amino Acids 2009 Apr 28. [Epub ahead of print]	Preoperative oral supplementation with carbohydrate and branched-chain amino acid- enriched nutrient improves insulin resistance in patients undergoing a hepatectomy: a randomized clinical trial using an artificial pancreas	Okabayashi T, Nishimori I, Yamashita K, Sugimoto T, Namikawa T, Maeda H, Yatabe T, Hanazaki K	外科(一)
Anesth Analg 109(2)Aug:684	Increase in blood glucose with the start of the reperfusion after large vessel surgery	Yatabe T, Yokoyama T, Yamashita K, Okabayashi T, Hanazaki K	外科(一)



Ann Surg 250(2)Aug:351-352	Tight glycemic control using an artificial pancreas to control perioperative hyperglycemia decreases surgical site infection in pancreatectomized or hepatectomized patients	Hanazaki K, Okabayashi T, Maeda H	外科(一)
Ann Surg Oncol 16(2)Feb:395-403. Epub 2008 Nov 26	Immunohistochemically detected expression of p27(Kip1) and Skp2 predicts survival in patients with intrahepatic cholangiocarcinomas	Hashimoto N, Yachida S, Okano K, Wakabayashi H, Imaida K, Kurokohchi K, Masaki T, Kinoshita H, Tominaga M, Aiki T, Ku Y, Okabayashi T, Hanazaki K, Hiroi M, Izumi S, Mano S, Okada S, Karasawa Y, Maeba T, Suzuki	外科(一)
Arch Surg 144(10)Oct:933-937	Continuous postoperative blood glucose monitoring and control by artificial pancreas in patients having pancreatic resection: A prospective randomized clinical trial	Okabayashi T, Nishimori I, Yamashita K, Sugimoto T, Maeda H, Yatabe T, Kohsaki T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科(一)
Clin J Gastroenterol 2(4)Aug:268-274	Differentiated adenocarcinoma with a gastric phenotype in the stomach: difficulties in clinical and pathological diagnoses	Namikawa T, Kobayashi M, Kitagawa H, Okabayashi T, Sugimoto T, Kuratani Y, Matsumoto M, Hanazaki K	外科(一)
Diabetes Care 32(8)Aug:1425-1427. Epub 2009 May 12	Effect of intensive insulin therapy using a closed-loop glycemic control system in hepatic resection patients: a prospective randomized clinical trial	Okabayashi T, Nishimori I, Maeda H, Yamashita K, Yatabe T,	外科(一)
Dig Endosc (in press)	Early gastric cancer with widespread duodenal invasion within the mucosa	Namikawa T, Kobayashi M, Kitagawa H, Okabayashi T, Dabanaka K, Okamoto K, Sugimoto T, Toi M, Hanazaki K	外科(一)
Hepatogastroenterology 56(90)Mar-Apr:519-523	Pancreatic fistula formation after pancreaticoduodenectomy; for prevention of this deep surgical site infection after pancreatic surgery	Okabayashi T, Maeda H, Nishimori I, Sugimoto T, Ikeno T, Hanazaki K	外科(一)
J Clin Gastroenterol 2009 Jun 25. [Epub ahead of print]	Incidence of and predictive risk factors for intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas with ordinary pancreatic cancer	Okabayashi T, Nishimori I, Maeda H,	外科(一)

J Gastrointest Surg 13(9)Sep:1724-1727. Epub 2009 May 5	Hepatic resection for metastatic colon cancer in patients with situs inversus totalis complicated by multiple anomalies of the hepatobiliary system: The first case report	Uemura S, Maeda H, Munekage M, Yoshioka R, Okabayashi T, Hanazaki K	外科(一)
J Gastrointest Surg 2009 Oct 10. [Epub ahead of print]	Clinicopathological properties of the superficial spreading type early gastric cancer	Namikawa T, Kitagawa H, Iwabu J, Okabayashi T, Sugimoto T, Kobayashi M,	外科(一)
J Hosp Infect 73(1)Sep:47- 53. Epub 2009 Jul 28	Risk factors and predictors for surgical site infection after hepatic resection	Okabayashi T, Nishimori I, Yamashita K, Sugimoto T, Yatabe T, Maeda H, Kobayashi M, Hanazaki K	外科(一)
Langenbeck's Arch Surg 394(4)Jul:617-621. Epub 2008 Jun 10	Total laparoscopic gastric mobilization for esophagectomy	Kitagawa H, Akimori T, Okabayashi T, Namikawa T, Sugimoto T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科(一)
Langenbeck's Arch Surg 394(4)Jul:749-753. Epub 2008 Nov 11	A case with synchronous multiple liver metastases from gastric carcinoma: postoperative long-term disease-free survival	Munekage M, Okabayashi T, Hokimoto N, Sugimoto T, Maeda H, Namikawa T, Dabanaka K, Kobayashi M, Araki K, Hanazaki K	外科(一)
Med Mol Morphol (in press)	Primary undifferentiated carcinoma of the small intestine: an immunohistochemical study and review of the literature	Namikawa T, Kobayashi M, Iwabu J, Kitagawa H, Maeda H, Okabayashi T, Iguchi M, Hiroi M, Hanazaki K	外科(一)
Med Mol Morphol (in press)	Quantitative distribution of brush cells in the rat gastrointestinal tract: brush cell population coincides with NaHCO <sub>3</sub> secretion	Akimori T, Hanazaki K, Okabayashi T, Okamoto K, Kobayashi M, Ogata T	外科(一)
Surg Today 39(6)Jun:487- 492. Epub 2009 May 27	Postoperative suppression of inflammatory cytokines after distal gastrectomy in elderly patients	Kishimoto K, Hiraguri M, Koide N, Hanazaki K, Adachi W	外科(一)
Surg Today 2009 Dec 29. [Epub ahead of print]	Tight perioperative glycemic control using an artificial endocrine pancreas	Hanazaki K, Maeda H, Okabayashi T	外科(一)
World J Gastroenterol 15(5)Feb:526-530	Clinical analysis of primary anaplastic carcinoma of the small intestine	Namikawa T, Hanazaki K	外科(一)
World J Gastroenterol 15(19)May:2309-2313	Clinicopathological features of early gastric cancer with duodenal invasion	Namikawa T, Hana	外科(一)

World J Gastroenterol 15(33)Sep:4111-4115	Perioperative intensive insulin therapy using artificial endocrine pancreas in patients undergoing pancreatectomy	Maeda H, Okabayashi T, Yatabe T, Yamashita K, Hanazaki K	外科(一)
World J Gastroenterol 15(33)Sep:4116-4121	Perioperative insulin therapy using a closed-loop artificial endocrine pancreas after hepatic resection	Okabayashi T, Maeda H, Sun ZL, Montgomery RA, Nishimori I, Hanazaki K	外科(一)
World J Gastroenterol 15(33)Sep:4122-4125	Relationship between perioperative glycemic control and postoperative infections	Hanazaki K, Maeda H, Okabayashi T	外科(一)
World J Gastroenterol 15(39)Oct:4877-4882	Surgical outcome of carcinosarcoma of the gall bladder: A review	Okabayashi T, Sun ZL, Montgomery RA,	外科(一)
World J Gastrointest Surg (in press)	Laparoscopic splenectomy for splenic hamartoma: Case management and clinical consequences	Namikawa T, Kitagawa H, Iwabu J, Kobayashi M, Matsumoto M,	外科(一)
World J Surg (in press)	Roux-en-Y reconstruction is superior to Billroth I reconstruction in reducing reflux esophagitis after distal gastrectomy: Special relationship with the angle of His	Namikawa T, Kitagawa H, Okabayashi T, Sugimoto T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科(一)
消化器疾患 最新の治療	肝臓癌	花崎和弘、岡林雄	外科(一)
胃癌術式と胃術後障害—その	噴門側胃切除は再建法を工夫することで胃全的	並川 努	外科(一)
胃癌術式と胃術後障害—その	胃全摘後再建ではRoux-en-Y法と比較して空腸	並川 努	外科(一)
よくわかる臨床栄養管理実践	V. 静脈栄養 静脈栄養とその適応	松浦喜美夫、岡林	外科(一)
Japan Medicine 10月30日号	リーバクトで在院日数を短縮、栄養状態も改善	花崎和弘	外科(一)
がん患者ケア 2(6)7月:83-93	がん化学療法を安全・確実に行うためのレジメンの読み方・見方 乳がん	杉本健樹、南喜本憲弘、船越拓、小野川雅英、今橋清子、三好	外科(一)
感染症 39(4)7月:135-142	術後感染対策 人工膵臓による新しい血糖管理	岡林雄大、花崎和弘	外科(一)
肝胆膵 59(2)8月:319-337	特別座談会 肝臓根治療法とBCAA ~術前後の栄養療法と肝臓再発~	兼松隆之、花崎和弘、渡會伸治、土師誠二	外科(一)
癌と化学療法 36(10)10月:1737-1739	化学放射線療法が奏効した食道小細胞型未分化癌の1例	北川博之、秋森豊一、並川 努、沖野倫子、小林道也、西岡明人、花崎和弘	外科(一)
救急・集中治療 21(11-12)11月:1633-1637	代謝管理のために NEW DEVICE 人工膵臓と血糖管理	宗景匡哉、前田広道、花崎和弘	外科(一)
外科 71(8)8月:810-814	噴門側胃切除術後の空腸囊間置再建術	並川 努、花崎和弘	外科(一)
外科 71(12)11月:1459-1463	各論 ストーマ ストーマの種類と造設術	倉本 秋、味村俊樹、岡本 節、駄場中研、岡本健、小林道也、花崎和弘、片岡 薫	外科(一)
外科治療 100(1)1月:97-101	手術手技 膵管内乳頭粘液性腫瘍に対する膵縮小手術 十二指腸胆管温存膵頭切除術を中心に	花崎和弘、宗景匡哉、上村 直、前田広道、岡林	外科(一)

外科治療 100(6)6月:836-840	多彩な病理組織像を有する後腹膜脂肪肉腫の一例	遠近直成、上地一平、北村宗生、秋森豊一、岡本健、北川博之、花崎和弘、松本学、公文正光	外科(一)
高知大学リサーチマガジン 手術 63(4)4月:553-556	アミノ酸製剤を主体とする肝切除における栄養療法 経仙骨会陰式に摘出を行った前仙骨部から外陰にまで及ぶepidermoid cystの1例	岡林雄大、花崎和弘、岡本健、駄場中研、緒方宏美、杉本健樹、小林道也、花崎和弘	外科(一) 外科(一)
消化器外科 32(5)4月:980-982	緩和ケア 通過障害の処置	花崎和弘、前田広道、北川博之、岡林雄大、並川	外科(一)
小児科診療 72(7)7月:1332-1335	当科における小児嵌頓包茎手術症例の検討	緒方宏美、大塩猛人、石橋広樹、曾我美朋子	外科(一)
胆と膵 30(3)3月:281-287	人工膵臓を用いた外科手術周術期血糖管理法 肝胆膵外科領域における周術期血糖管理の重要性	岡林雄大、花崎和弘、前田広道、山下幸一、矢田部智昭、西森功、小川道雄	外科(一)
胆と膵 30(5)5月:511-516	人工膵臓を用いた外科手術周術期血糖管理法 麻酔科医の立場からみた厳密な周術期血糖管理の実践について	山下幸一、矢田部智昭、阿部秀宏、細井理絵、前田広道、花崎和弘	外科(一)
胆と膵 30(7)7月:785-794	人工膵臓を用いた外科手術周術期血糖管理法 厳密な血糖管理の現状と将来展望 -人工膵臓の果たす役割-	花崎和弘、岩坂日出男、山下幸一、川上伸次、岡林雄大	外科(一)
糖尿病学の進歩 43集 9月:115-117	人工膵臓の現状と未来 周術期の血糖制御	花崎和弘、岡林雄大、前田広道、北川博之、並川努、杉本健樹	外科(一)
日本内視鏡外科学会雑誌 14(2)4月:205-210	完全内臓逆位症に合併した直腸癌に対する腹腔鏡下手術の経験	駄場中研、岡本健、岡林雄大、北川博之、秋森豊一、小林道也	外科(一)
日本乳癌検診学会誌 18(1)3月:67-75	マンモグラフィ検診の進む方向は? 高知マンモグラフィ遠隔診断ネットワークの構築	杉本健樹、甯喜本憲弘、船越拓、花崎和弘、坪崎英治、中内優、武市昌士、松浦喜美夫、尾崎	外科(一)
日本臨床 別冊消化管症候群(下)9月:662-665	虫垂 腫瘍 虫垂ポリープ性病変	小林道也、田村耕平、岡本健、駄場中研	外科(一)
日本臨床外科学会雑誌 70(5)5月:1444-1448	広範なリンパ節転移を認めた直腸GISTの1例	駄場中研、岡本健、岡林雄大、緒方宏美、前田広道、花崎和弘	外科(一)
麻酔 58(1)1月:88-91	人工膵臓 STG-22TM を用いて血糖管理を行った褐色細胞腫の麻酔経験	矢田部智昭、横山武志、山下幸一、前田広道、岡林雄大、真鍋雅信、花崎和弘	外科(一)
臨床外科 64(11)10月:10-13	縫合・吻合法の基本 縫合、縫合止血、吻合のポイント	花崎和弘、宗景匡哉、上村直、前田広道、岡林	外科(一)

Interactive CardioVascular and Thoracic Surgery	Postoperative administration of landiolol hydrochloride for patients with supraventricular arrhythmia: the efficacy of sustained intravenous infusion at a low dose.	Wariishi S, Yamashita K, Nishimori H, Fukutomi T, Yamamoto M, Radhakrishnan G, Sasaguri S	外科(二)
新薬と臨床	総合ビタミン剤配合TPN用輸液1500ml/日投与による使用経験.	川田通広, 岡崎泰長, 石川忠則, 前田博敏, 山下幸一, 笹栗志朗	外科(二)
静脈学	下肢静脈瘤レーザー治療におけるファイバー先端温度変化について ~810nm半導体レーザーによる実験的検討~.	川田通広, 伊藤基巳紀, 木村正廣, 笹栗志朗	外科(二)
J Plast Reconstr Aesthet Surg	Preoperative arterial embolisations of a huge, chronic, expanding hematoma to inhibit intraoperative massive bleeding; a case report.	M. Kuriyama, N. Mitsukawa.	外科(二)
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	One-stage Minimally Invasive Direct Coronary Artery Bypass Grafting by Trans-diaphragmatic Approach Combined with Abdominal Aortic Aneurysm Repair to Avoid Post-operative Cardiovascular Event.	Masaki Yamamoto, Hideaki Nishimori, Takashi Fukutomi, Seiichiro Wariishi, Kentaro	外科(二)
Interactive Cardiovascular a	Preliminary experience for the evaluation of the intraoperative graft patency withreal color charge-coupled device camera system: an advanced device for simultaneous capturing of color and near-infrared images during coronary artery bypass graft.	Handa T, Katare RG, Sasaguri S, Sato T	外科(二)
Journal of cardiac failure	Anti-Alzheimer's Drug, Donepezil, Markedly Improves Long-Term Survival After Chronic Heart Failure in Mice.	Takemi Handa, Rajesh G katare, Yoshihiko Kakinuma, Mikihiko Arikawa, Motonori Ando, Shiro Sasaguri, Fumiyasu Yamasaki, Takayuki Sato	外科(二)
General Thoracic and Cardiovascular Surgery	A new device for the intraoperative graft assessment: The HyperEye charge-coupled device camera system.	Takemi Handa, Hideaki Nishimori, Seiichiro Wariishi, Takashi Fukutomi, Masaki Yamamoto, Shiro Sasaguri,	外科(二)
日本形成外科学会会誌	石灰化を伴って腫部に生じたangioleiomyomaの1例.	吉田行貴	外科(二)
J Anesthe 2010 (in press)	Better postoperative oxygenation in thoracoscopic esophagectomy in prone positioning.	T Yatabe, H Kitagawa, K Yamashita, T Akimori, K Hanazaki, M Yokoyama.	麻酔科蘇生科
J Nutr Sci Vitaminol 2010;56:104-8	Bolus oral continuous intestinal amino acids reduce hypothermia during anesthesia in rats.	A Imoto, T Yokoyama, K Suwa, F Yamasaki, T Yatabe, R Yokoyama, K Yamashita,	麻酔科蘇生科

Acta Anaesthesiol Scand. Jan;53(1):66-71.,2009	Accuracy and reliability of continuous blood glucose monitor in post-surgical patients.	YAMASHITA K, OKABAYASHI T, YOKOYAMA T, YATABE T, MAEDA H, MANABE M, HANAZAKI K	麻酔科蘇生科
Neonatology	Therapeutic effects of maternal melatonin administration on Ischemia/Reperfusion-induced oxidative cerebral damage in neonatal rats.	Hamada, F., Watanabe, K., Wakatsuki, A., Nagai, R., Shinohara, K., Hayashi, Y., et al.	産科婦人科
European Journal of Obstetrics Gynecology and Reproductive Biology	Comparison of four malignancy risk indices in the preoperative evaluation of patients with pelvic masses.	Yamamoto Y, Yamada R, Oguri H, Maeda N.	産科婦人科
International Journal of Gynecology and Obstetrics	Positron emission tomography/computed tomography evaluation for choriocarcinoma.	Yamamoto, Y., Maeda, N., Fukaya, T.	産科婦人科
Fertility and Sterility	Human leukocyte antigen-G, a ligand for the natural killer receptor KIR2DL4, is expressed by eutopic endometrium only in the menstrual phase.	Kawashima M, Maeda N, Adachi Y, Takeuchi T, Yamamoto Y, Izumiya C, Hayashi K, Furihata M, Udaka K, Fukaya T	産科婦人科
臨床婦人科産科	【ここが聞きたい 不妊・不育症診療ベストプラクティス】 不妊の治療 手術療法【開腹による子宮形成術】 開腹による子宮形成術の適応,方法,臨床的意義について教えてください	宇賀神奈月, 泉谷知明, 深谷孝夫	産科婦人科
臨床婦人科産科	【ここが聞きたい 不妊・不育症診療ベストプラクティス】 不妊の治療 手術療法【腹腔鏡下手術】 ART治療以前の患者が卵管水腫や卵管遠位端の閉塞を呈しています。この患者の手術方針について教えてください(温存か切除か)	菅麻里, 泉谷知明, 深谷孝夫	産科婦人科
産婦人科治療	【知っておきたい今日のホルモン療法】ピルOCと緊急避妊	谷口佳代, 泉谷知明, 深谷孝夫	産科婦人科
がん患者ケア	婦人科悪性腫瘍の化学療法と看護の役割 婦人科悪性腫瘍の化学療法最前線	小栗啓義	産科婦人科
がん患者ケア	婦人科悪性腫瘍の化学療法と看護の役割 化学療法における有害事象対策と看護の役割	小栗啓義	産科婦人科
日本臨床(0047-1852)67巻増刊号5 子宮疾患・子宮内膜症の臨床	【子宮疾患・子宮内膜症の臨床 基礎・臨床研究のアップデート】 基礎的事項 子宮内膜症疫学	泉谷知明, 深谷孝夫	産科婦人科
日本臨床(0047-1852)67巻増刊号5 子宮疾患・子宮内膜症の臨床	【子宮疾患・子宮内膜症の臨床 基礎・臨床研究のアップデート】 子宮内膜症 肺子宮内膜症	前田長正	産科婦人科
日本臨床(0047-1852) 子宮疾患・子宮内膜症の臨床	【子宮疾患・子宮内膜症の臨床 基礎・臨床研究のアップデート】 基礎的事項 子宮内膜症疫学	泉谷知明, 深谷孝夫	産科婦人科
産婦人科の実際	【子宮内膜症の適切な治療法選択】 不妊に対する治療法の選択 腹腔鏡下手術を中心として	前田長正, 泉谷知明, 谷口佳代, 菅麻里, 深谷孝夫	産科婦人科
産婦人科の実際	【不妊治療ハンドブック】 治療 多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)合併不妊の治療	泉谷知明, 深谷孝夫	産科婦人科

臨床神経生理学 37(2):60-71, 2009	【脳機能計測法を基礎から学ぶ人のために】術中モニタリング 脊髄誘発電位による脊髄伝導ブロックの部位診断法	谷 俊一、谷口 慎一郎、牛田享 宏、池本竜則、 田所伸朗	整形外科
脊椎脊髄ジャーナル 22(5): 617-623, 2009	第2章:各論【各種疾患に伴う後弯症】[12. 骨粗鬆症による椎体圧潰の病態と手術治 療] 神経麻痺と局所後弯を呈する骨粗鬆症性 椎体圧潰に対するリン酸カルシウムセメント	武政龍一、谷 俊一、喜安克 仁、井上真輔	整形外科
Spine 34(23): 2500-2504, 2009	Incidence and Risk Factors of Postoperative Delirium in Cervical Spine Surgery	Ushida T, Yokoyama T, Kishida Y, Hosokawa M, Taniguchi S, Inoue S, Takemasa R, Suetomi K, Young-Chang P, Arai, Matthew McLaughlin, Tani T	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑 誌 20(3): 706-708, 2009	Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire (JOABPEQ); Validating the JOABPEQ for measuring Mental Health Problems in Patients with Lumbar Disc Herniation and Lumbar Spinal Canal Stenosis	Taniguchi S, Fukui M, Chiba K, Kanamori M, Kawakami M, Miyamoto M, Nakai S, Shimamura T, Taguchi T, Takeshita K, Tanaka Y, Tani T, Wada B, Yonenobu K	整形外科
脊髄機能診断学 31(1): 40-45, 2010	圧迫性頸髄症における脊髄下行路の障害 高位診断	田所伸朗、池本 竜則、牛田享 宏、谷口慎一 郎、池内昌彦、 谷口慎一郎、谷 俊一、牛田享 宏、永野靖典、 池本竜則、田所	整形外科
臨床脳波 52(2): 85-94, 2010	圧迫性頸髄症に対する脊髄誘発電位による 機能診断	谷口慎一郎、谷 俊一、牛田享 宏、永野靖典、 池本竜則、田所	整形外科
Cell Biol Int, 33:534-541, 2009. (corresponding author)	Treatment with FTY720 during the induction of effector phase suppresses the development of experimental allergic conjunctivitis in mice.	Sumi T, Fukushima A, Nishino K, Fukuda K, Ueno H, et.al	眼科
Br J Ophthalmol, 93:110-115, 2009. (corresponding author)	Activation of tumor necrosis factor-related apoptosis-inducing ligand receptor enhances the severity of murine allergic conjunctivitis.	Sumi T, Ishida W, Okumura K, Yagita H, Fukushima A.	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 50:2139-2146, 2009.	MHC-matched corneal allograft rejection in an IFN-gamma/IL-17-independent manner in C57BL/6 mice.	Yamada J, Hamuro J, Fukushima A, Ohteki T, et.al.	眼科
Int Immunol., 21:187-201, 2009.	Ablation of type I hypersensitivity in experimental allergic conjunctivitis by eotaxin- 1/CCR3 blockade.	Miyazaki D, Nakamura T, Ohbayashi M, Fukushima A, et.al.	眼科

Cornea, 29: 694-698, 2009. (corresponding author)	Image analyses of the kinetic changes of conjunctival hyperemia in histamine-induced conjunctivitis in guinea pigs.	Fukushima A, Tomita T.	眼科
J Ocul Pharmacol Ther, 25:265-270, 2009.	Comparison of Efficacy of Bromfenac Sodium 0.1% Ophthalmic Solution and Fluorometholone 0.02% Ophthalmic Suspension for the Treatment of Allergic Conjunctivitis.	Fujishima H, Fukagawa K, Takano Y, Fukushima A, et.al.	眼科
J Ocul Pharmacol Ther, 25:365-371, 2009.	A large prospective observational study of novel cyclosporine 0.1% aqueous ophthalmic solution in the treatment of severe allergic conjunctivitis.	Ebihara N, Ohashi Y, Uchio E, Fukushima A, et.al.	眼科
Mol Cell Biol, 29:3754-69, 2009.	The NF90-NF45 complex functions as a negative regulator in the microRNA processing pathway.	Sakamoto S, Aoki K, Higuchi T, Fukushima A, et.al.	眼科
Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol, 247:1571-2, 2009.	Image analyses of conjunctival hyperemia in guinea pig allergic conjunctivitis.	Fukushima A, Tomita T.	眼科
Can J Ophthalmol, 44: 657-662, 2009.	Histological and clinical study of eyes with true exfoliation and a double-ring sign on the anterior lens capsule.	Yamamoto Y, Nakakuki T, Nishino K, Yagyu K, Ueno H, Fukushima A.	眼科
Br J Ophthalmol, 93: 1680-1685, 2009.	Systemic overexpression of and IL-5 exacerbates early IFN- phase reaction and conjunctival eosinophilia, respectively, in experimental allergic conjunctivitis.	Ishida W, Tsuru E, Tominaga A, Higuchi T, Fukushima A, et.al.	眼科
JOHNS 25(4);583-586, 2009.	機能性発声障害2(特集:喉頭疾患—私はこう検査する).	兵頭政光, 西窪加緒里, 田口亜	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 81(6):399-403, 2009.	4) 嚥下障害(シリーズ 専門医試験への対応 4. 口腔咽頭喉頭疾患).	兵頭政光	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌27(1);113-116, 2009.	乳幼児反復性・遷延性中耳炎におけるアデノイド細菌培養の検討.	弘瀬かほり, 濱田昌史, 兵頭政光	耳鼻咽喉科
MB ENT 100;137-140, 2009.	急性喉頭蓋炎(特集:耳鼻咽喉科外来 薬の選び方・使い方・投与期間).	兵頭政光	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会専門医通信 第99号;12-13, 2009.	声帯溝症の取り扱い.	兵頭政光	耳鼻咽喉科
MB ENT 103;65-69, 2009.	頭頸部癌症例における嚥下リハビリテーション(特集:機能温存をめざした頭頸部癌治療).	兵頭政光	耳鼻咽喉科
日耳鼻112;562-565, 2009.	鼻副鼻腔から眼窩へのアプローチ(専門講座).	比野平恭之	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床55(3);120-126, 2009.	スギ花粉症に対する塩酸オロパタジン投与の有用性.	高橋宏尚, 兵頭政光, 比野平恭	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床102(9);749-754, 2009.	下咽頭癌に対する放射線併用超選択的動注化学療法.	大野 覚, 中谷宏章, 弘瀬かほり, 松本 昇, 伊藤悟志, 山西伴明, 西岡明人, 小川恭	耳鼻咽喉科
化学療法の領域25(9); 1866-1872, 2009.	3. 嚥下障害の診断と対応:耳鼻咽喉科の立場から(特集 高齢者呼吸器感染症の現状と治療の展望. I 高齢者誤嚥性肺炎).	兵頭政光	耳鼻咽喉科
MB ENT 105;50-54, 2009.	神経疾患に伴う音声障害(特集:声帯に病変のない声の異常).	兵頭政光, 西窪加緒里	耳鼻咽喉科



Otology & Neurotology 30; 766-770, 2009.	Total Mastoid Obliteration in Staged Canal-Up Tympanoplasty for Cholesteatoma Facilitates Tympanic Aeration.	Naoaki Yanagihara, Masahiro Komori, and Yasuyuki Hinohira	耳鼻咽喉科
Otology & Neurotology 30; 847-850, 2009.	Mouth Movement Disturbance as a Sequela of Bilateral Bell's Palsy.	Masahiro Komori, Naoaki Yanagihara, and Keiko Kahiba	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望52(5); 282-288, 2009.	加齢に伴う嚥下機能の変化様式.	兵頭政光	耳鼻咽喉科
JOHNS 25(12);1795-1799, 2009.	予防医学からみた喉頭癌(特集・予防医学からみた耳鼻咽喉科臨床).	鶴久森徹, 兵頭政光	耳鼻咽喉科
喉頭21(2);86-89, 2009.	嚥下機能改善手術のピットフォール.	兵頭政光, 西窪加緒里	耳鼻咽喉科
Facial N Res Jpn 29;40-43, 2009.	3DX Multi-Image Micro CTによる顔面神経麻痺の画像診断～顔面神経管の経時的変化～.	小森正博, 柳原尚明, 山田和臣	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床103(2);155-161, 2010.	Forestier病(強直性脊椎骨増殖症)による嚥下障害に対する外科的治療.	兵頭政光, 西窪加緒里, 宋碩柱, 本吉和美	耳鼻咽喉科
Hearing Research 260; 11-19, 2010.	Expression of aquaporins and vasopressin type 2 receptor in the stria vascularis of the cochlea.	R.Nishioka, T. Takeda, A. Kakigi, T. Okada, S. Takebayashi, D. Taguchi, M. Nishimura, M. Hyodo	耳鼻咽喉科
JOHNS26(3);527-529, 2010.	ビデオラリノゴスコープシステム(私が愛用する手術器具75).	兵頭政光	耳鼻咽喉科
Cancer Invest 27(9):901-908, 2009	Enhanced MDR1 expression and chemoresistance of cancer stem cells derived from glioblastoma.	Nakai E, Park K, Yawata T, Chihara T, Kumazawa A, Nakabayashi H, Shimizu K	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo) 50(3)259-263, 2010	Preoperative surgical approach planning for metastatic pituitary stalk tumor using multimodal fusion imaging in a neuronavigation system: case report.	Yamada SM, Masahira N, Ikawa N, Nakai E, Park KC, Shimizu K	脳神経外科
Cell Biochem Funct. 27(8):503-15, 2009.	Mechanism of cell death by 5-aminolevulinic acid-based photodynamic action and its enhancement by Mn <sup>2+</sup> , deferoxamine, and NOC-18 in human histiocytic lymphoma cell line U937.	Amo T, Kawanishi N, Uchida M, Fujita H, Oyanagi E, Utsumi T, Ogino T, Inoue K, Shuin T, Utsumi K.	泌尿器科
Pathobiology, 76(6):303-14, 2009.	Regulation of 5-aminolevulinic Acid-mediated Protoporphyrin IX-accumulation in Human Urothelial Carcinomas.	Inoue K, Takashi K, Kamada M, Shuin T, Kurabayashi A, Furihata M, Fujita	泌尿器科
Audio-Visual Journal of JUA vol.15, No.2, 2009.	(15-9) テーマ「膀胱腫瘍」③「膀胱癌に対する光力学診断および光力学診断補助下経尿道的膀胱腫瘍切除術」	井上啓史, 執印太郎, 降幡睦夫, 渡邊裕修, 谷村正信	泌尿器科

日本泌尿器科学会雑誌, 100(7):661-70, 2009.	光力学診断補助下経尿道的膀胱腫瘍切除術 の臨床経験	井上啓史, 久野貴平, 福原秀雄, 濱口卓也, 深田 聡, 辛島 尚, 鎌田雅行, 執印太郎, 阪倉直樹, 笠原高太郎, 渡邊裕修, 香西哲夫, 安田雅春, 片岡真一, 谷村正信, 倉林 睦, 降幡睦夫.	泌尿器科
日本レーザー医学会 誌, 30(4), 387-393, 2009.	膀胱癌115例における光線力学的診断 (PDD) の診断精度	福原秀雄, 井上啓史, 濱口卓也, 久野貴平, 大河内寿夫, 深田 聡, 辛島 尚, 鎌田雅行, 執印太郎, 阪倉直樹, 笠原高太郎, 渡邊裕修, 香西哲夫, 安田雅春, 片岡真一, 谷村正信, 倉林 睦, 降幡睦夫.	泌尿器科
The Journal of the Japanese Society for Dental Materials and Devices	歯冠用硬質レジン添加剤の細胞毒性に関する 生物学的検討	松浦理太郎 三輪えり 安楽照男 山本哲也	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	顎二腹筋の破格を伴う巨大な舌下型類表皮嚢 胞の1例	日比弓紀子 笹部衣里 大野清二 本田博之 笹部衣里 山本哲也	歯科口腔外科
口腔組織培養学会雑誌	水熱ホットプレス法により作製したアパタイト系固 化体上におけるMC3T3-E1骨芽細胞様細胞の接 着、増殖および分化	生田梨沙 笹部衣里 植田栄作 レンドン・アンヘ レス 柳澤和道	歯科口腔外科
DENTAL DIAMOND	左側口蓋の無痛性腫脹	山本哲也	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	上顎に生じた悪性顆粒細胞腫の1例	植田栄作 大野清二 立石善久 笹部衣里 山本哲也	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	ビスフォスフォネート投与と関連性があると考え られた顎骨骨髓炎ならびに顎骨壊死30症例に 関する追跡調査 ～2年後の現状について～	浦出雅裕, 田中徳昭 嶋田淳, 柴田孝典 古澤清文, 桐田忠昭 山本哲也, 池邊哲郎 北川善政, 倉科憲治 瀬戸皖一, 福田仁一	歯科口腔外科

Cancer Letters	Combined evaluation of dihydropyrimidine dehydrogenase and thymidine phosphorylate mRNA levels in tumor predicts the histopathological effect of 5-fluorouracil-based chemoradiotherapy.	Yoshihisa Tateishi Yukihiro Tatemoto Sei-ohno Keiko Morishita Eisaku Ueta	歯科口腔外科
日本臨床 別冊消化管症候群(下)9月: 662-665	虫垂 腫瘍 虫垂ポリープ性病変	小林道也、田村耕平、岡本 健、駒場中研	がん治療センター
論文件数合計			245 件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 杉浦 哲朝		
管理担当者氏名	総務管理課長	源 憲治	医療安全管理部長 横山 彰仁
	医療サービス課長	藤原 楠生	
	薬剤部長	宮村 充彦	
	放射線部長	小川 恭弘	

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療サービス課 (カルテ室) 及び 薬剤部並びに 放射線部	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に一患者一ファイル方式とし、エックス線写真は一患者一ファイル方式で共にコンピュータによる集中管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務管理課
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究協力課
	高度の医療の研修の実績	総務管理課
	閲覧実績	総務管理課
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課
第規 一則 号第 一 掲条 げの る十 体一 制第 一 確項 保各 の号 状及 び 第九 条の 二十 三第 一 項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画課及び 薬剤部
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策チーム
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策チーム
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策チーム
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策チーム
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策チーム
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理室
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理室		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学部・病院事務部長 前田 邦 章
閲覧担当者氏名	総務管理課長 源 憲 治
閲覧の求めに応じる場所	医療サービス課 医事相談室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	68.4 %	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	9,620 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,662 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,039 人	
	D: 初診の患者の数	19,104 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
指針の主な内容 (本院の安全管理のための指針) <ul style="list-style-type: none"><li>・安全管理に関する基本的考え方 (安全管理の体制確保という総合的観点から)</li><li>・医療に係る安全管理のための委員会その他組織に関する基本的事項</li><li>・医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針</li><li>・医療に係る安全の確保を目的とした、事故報告等の改善のための方策に関する基本方針</li><li>・医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>・患者さんからの相談への対応に関する基本方針</li><li>・患者さんや第三者などに対する当該指針の周知に関する基本方針</li><li>・医薬品と医療機器安全管理に関する基本方針</li><li>・その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
活動の主な内容 (リスクマネジメント代表者会議内規) <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 高知大学医学部附属病院医療安全管理部規則 (平成16年5月26日施行) 第3条に定める事項。</li><li>(2) 報告のあったインシデントの分析及び影響度レベルの判定に関する事。</li><li>(3) 判定した影響度レベルが3以上のもので、医療問題調査委員会への報告に関する事。</li><li>(4) インシデントごとの解決策及び再発防止策等の企画・立案に関する事。</li><li>(5) 医療安全管理体制システム及びマニュアルの見直しに関する事。</li><li>(6) 研究会等の企画・立案に関する事。</li><li>(7) 協議事項の結果をリスクマネジメント担当者に周知徹底する事。</li><li>(8) その他安全管理に関する事。</li></ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年17回
研修の主な内容: 安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について実施 医療事故防止の基本、インシデントレポートの報告の仕方、本院における医療安全の取り組み、インシデント・事故事例の分析手法、麻薬の取扱い・転倒転落について調査報告と転倒時の対応	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) その他改善のための方策の主な内容: <ul style="list-style-type: none"><li>・報告事例の分析を行い、事例に対応する事故防止のための研修会の開催、マニュアルの追加</li><li>・医療機器の不具合情報を厚生労働省に報告するとともに院内にもリスクマネジメントニュースとして周知</li><li>・報道された医療事故等の要約を全部署に配布し、事故防止について注意喚起している。</li><li>・病棟巡視を行い、その結果を病棟に示し注意・改善を喚起している。</li></ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名)・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>所属職員： 専任（3）名 兼任（10）名</p> <p>活動の主な内容（医療安全管理部規則）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 安全管理のための指針の整備及び情報収集に関する事。</li> <li>(2) 重要な検討内容について、患者への対応状況を含め病院長へ報告すること。</li> <li>(3) 重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに職員への周知を図ること。</li> <li>(4) 医療事故の防止及び対策に係る調査・分析に関する事。</li> <li>(5) 改善策を立案すること。</li> <li>(6) 改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。</li> <li>(7) 安全管理に関する教育・研修に関する事。</li> <li>(8) 安全管理に関する連絡調整に関する事。</li> <li>(9) その他安全管理に関する事。</li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無



(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策に関する基本的考え方</li><li>2. 院内感染対策のための委員会その他組織に関する基本的事項</li><li>3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針</li><li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>6. 患者さんや第三者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>7. その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年17回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 感染の発生及びその感染経路の調査に関すること</li><li>2. 感染予防に係る情報の収集に関すること</li><li>3. 感染予防の実施、監視及び指導に関すること</li><li>4. 感染症発生時の措置に関すること</li><li>5. 院内職員の教育及び啓発に関すること</li><li>6. 消毒剤等の使用に関すること</li><li>7. 感染症専用処置室の運用に関すること</li><li>8. その他感染予防に関すること</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年13回
<p>・ 研修の主な内容： 下記6つのテーマで合計13回開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ケアの中で気づく感染症～H I Vなど話題の感染症を含めて</li><li>・ 血液培養検査～重要性和実施における注意ポイント</li><li>・ 重要な抗菌薬の特性と正しい使い方</li><li>・ 耐性菌について－耐性菌とは／当院の現状－</li><li>・ 感染症診療の基礎と基本</li><li>・ 手指衛生の必要性和手荒れ対策</li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( ○・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 感染情報レポートは、週報(毎週1回)、月報(毎月1回)、年報(毎年1回)作成し、感染症法に基づく病原体 (MRSA、ペニシリン耐性肺炎球菌、感染性胃腸炎の病原菌、薬剤耐性緑膿菌など)、β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性ヘモフィルス、3世代セフェム耐性基質拡散型β-ラクタマーゼ産生菌、クロストリジウム・ディフィシル菌、流行時期に応じてインフルエンザ、ノロウイルスなどの検出状況を示している。</li><li>2. MRSAについては、サーベイランスを行い、感染と保菌、院内発生と持込を診療科別、病棟別に示している。</li></ol>	

3. これらの情報は、ベースラインを把握し、菌検出状況に応じて現場に出向き感染対策を徹底することによって、アウトブレイクの予防と早期察知に役立て、さらに感染対策実施状況の評価に活用している。
4. 診療科、病棟、外来、検査部から専任感染対策マネージャーに報告。
5. 専任感染対策マネージャーは直ちに部署に出向き、患者発生状況を調査する。
6. 感染が拡大しないように具体的な感染対策を指導する。
7. 接触者（患者、面会者、医療従事者）を確認し、必要な予防策を講じる。
8. 医師、看護師、ICT合同カンファレンスを開催し、情報の共有と対策の徹底を図る。
9. 随時専任感染対策マネージャーから感染対策委員会委員長に報告する。
10. 各診療科、病棟から所属長に報告する。
11. ICTに報告が必要な病原体として、多剤耐性緑膿菌、バンコマイシン耐性腸球菌、基質拡散型β-ラクターゼ産生菌、ペニシリン耐性肺炎球菌、クロストリジウム・ディフィシル菌、下痢および嘔吐、食中毒、結核および結核の疑い、インフルエンザ、麻疹、水痘・带状疱疹、風疹、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎、百日咳、疥癬をあげている。
12. 診療科、病棟、外来、検査部から専任感染対策マネージャーに報告があれば、
  - ①専任感染対策マネージャーは直ちに部署に出向き、患者発生状況を調査する
  - ②感染が拡大しないように具体的な感染対策を指導する
  - ③接触者（患者、面会者、医療従事者）を確認し、必要な予防策を講じる
  - ④医師、看護師、ICT合同カンファレンスを開催し、情報の共有と対策の徹底を図る
  - ⑤随時専任感染対策マネージャーから感染対策委員会委員長に報告する
  - ⑥各診療科、病棟から所属長に報告する必要に応じて保菌者スクリーニング、環境培養、詳細な疫学調査を実施する

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
・ 研修の主な内容： 全職員・新人看護師・研修医等に対する、安全使用に関して技術の習得が必要と考えられる機器等の、適正な使用方法とインシデント対策等に関する定期研修、及び新しい医療機器の導入時の操作方法等に関する研修を実施。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 特に安全使用に関して技術の習得が必要と考えられる機器を含む、人工呼吸器、人工心肺装置、輸液ポンプなどの機器類の定期点検、日常点検等を実施し、コンピュータ化されて機器名、型式等が入力されている機器台帳により個々に記録管理し、かつ保守点検計画を策定。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 使用部署に取扱い説明書等を整備。医療機器製造販売業者等から収集した安全情報は、病院の電子掲示板により周知を図るが、緊急を要する場合は、直接関係部署に出向き、説明し情報を伝え対応をとる。また、院内医療機器のインシデントの報告に対し、その安全対策・改善策を周知し実施する。さらに、医療機器の不具合は病院管理者への報告を通して、医療機器安全性情報報告書を原則として厚労省に提出する。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年15回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：(R21年度)</li></ul> 医薬品安全管理の研修会 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 静脈注射について</li><li>・ 麻薬の管理について</li><li>・ 抗がん剤ミキシングについて</li><li>・ 抗菌薬の適正使用に向けて(感染対策)</li><li>・ オピオイドの使い方について(緩和ケア)</li></ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 手順書の作成 (有・無)</li><li>・ 業務の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>① 医薬品の採用・購入に関する事項</li><li>② 医薬品の管理に関する事項</li><li>③ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤までに関する事項</li><li>④ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項</li><li>⑤ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項</li><li>⑥ 他施設(医療機関、薬局等)との連携に関する事項</li><li>⑦ 医薬品安全性情報等の管理体制の充実に関する事項</li></ol></li></ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>DIニュースの発行(年3~4回発行)</li><li>医薬品、医療用具等の安全情報の発行(年11~12回発行)</li><li>IMIS掲示板(web)</li><li>薬剤管理指導業務連絡会(毎月)</li><li>各種勉強会、講習会等</li></ul></li></ul>	